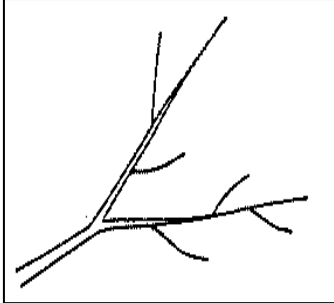


第 16 回 農業後継者りんご整枝剪定競技会（筆記試験）

団体名		番号		氏名	
-----	--	----	--	----	--

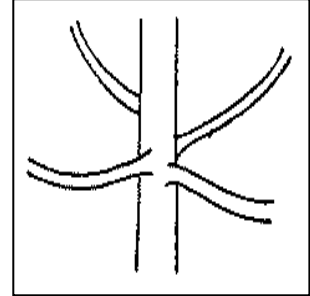
問題 1 次の図の名称を下の用語から選び、答えなさい。 12 点（各 2 点）



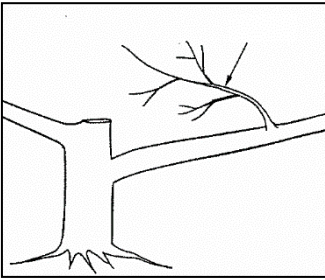
()



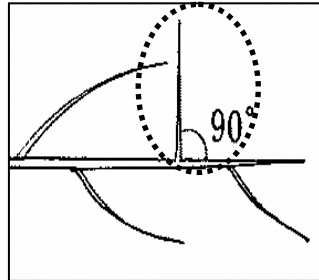
()



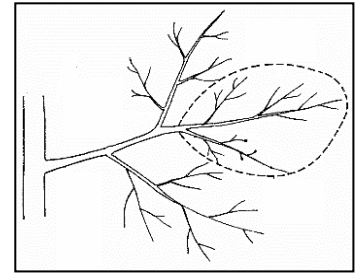
()



()



()



()

角枝	共枝	フェザー	車枝	逆向枝	平行枝	同年枝	結果母枝
立枝	新梢	予備枝	結果母枝群	結果枝	更新枝	けん制枝	

問題 2 次の文章に当てはまる用語を選び、答えなさい。 16 点（各 2 点）

- ① 果枝長が 6～10 cm の枝。 ① _____
- ② 果枝長が長果枝以上の枝。 ② _____
- ③ 着葉部位に形成された芽。 ③ _____
- ④ 当年枝の側方に形成された芽。 ④ _____
- ⑤ 枝同士が X 字型に交差した状態。 ⑤ _____
- ⑥ 主軸枝から発出した枝。 ⑥ _____
- ⑦ 枝分れが少なく、棒状化した枝。 ⑦ _____
- ⑧ 1 年枝の先端部分を数 cm 剪去すること。 ⑧ _____

割り	短果枝	中果枝	長果枝	発育枝	徒長枝	定芽	頂芽	腋芽	擬花芽	車枝	重なり枝
交差枝	やぐら枝	裸枝	親枝	子枝	孫枝	先刈り	蕾切り	蕾刈り			

問題3 次の文章の（ ）に正しい用語を下から選びなさい。 20点（各2点）

- ①枝は高い位置や（ ）から出たものほど生育が（ ）である。
- ②果実の（ ）や着色を促したり、翌年に向けて充実した花芽を形成するためには、（ ）と養水分が必要である。
- ③りんごの（ ）形成は、主に7月上旬頃から8月下旬頃にかけて行われる。
- ④花芽が分化する順序は、（ ）、中果枝、（ ）の順である。
- ⑤一般に弱小芽とは花芽の横径が（ ）以下のものをいう。
- ⑥若木や樹勢の強い樹には（ ）剪定、樹勢の弱い樹には（ ）剪定が基本である。

切り返し 短い 先端 低温 基部 短幹 養水分 長幹 長い 日光 穏やか 肥大 間引き 花芽 時間 3ミリ 5ミリ 1センチ 旺盛 高温 種子 短果枝 長果枝 徒長枝 果台枝 下垂枝
--

問題4 適当な用語を から選び、次の文章の（ ）に記入しなさい。 12点（各2点）

整枝剪定とは

「整枝」とは樹の（ ）を作る作業。「剪定」とは充実した（ ）を作る作業。

整枝剪定の目的

- ①収量の（ ）（隔年結果防止）、②収量を高める、③（ ）の生産、④（ ）の維持、
⑤（ ）の向上

収量 成枝 良品果実 樹勢 安定化 作業性 骨格

問題5 「栄養生長」と「生殖生長」は樹体のどの部分を生長させるのか説明しなさい。 10点（各5点）

「栄養生長」

「生殖生長」

問題6 次の問いに答えなさい。

15点 (各5点)

①Aさんは改植事業で10㎡当たり列間4.5m、樹冠7mで改植を行ったところ、10㎡当たりの本数は何本になるか答えなさい。

答え _____

②Bさんは40㎡の園地でわい化栽培を行うために苗木を500本購入しました。苗木を植える際、10㎡当たり列間を4mとすると樹冠は何mになるか答えなさい。

答え _____

③1,000ℓのタンクに殺菌剤A 4,000倍を調合するとき、何m³必要となるか答えなさい。

答え _____

問題7 次の説明に当てはまる人物を答えなさい。 15点 (各5点)

①りんごわい化栽培の先駆者として技術の研究と普及指導に尽力し、わい化栽培の定着と発展に貢献。

① _____

②明治中・後期の病害虫多発期に、樹形改造、袋掛け、ボルドー液散布などの普及に努め、りんごの神様をして慕われた。

② _____

③りんご栽培の最初の苗木配布者及び試植者で、青森りんごの開祖と言われている。

③ _____

④青森りんごの戦後復興の祖と言われ、荒廃したりんご園を復興するため、先頭に立って運動し、「青森県りんご協会」を設立した。

④ _____

⑤「国光」に変わる品種として、「ふじ」の栽培研究や無償で穂木を供与するなど、「ふじ」の普及に尽力した。

⑤ _____